

第6学年1組 社会科学習指導案

令和元年10月24日(木) 第5校時 教室
男子12名 女子13名 合計25名
指導者 有山 和宏

- 1 小单元名 長く続いた戦争と人々の暮らし
- 2 小单元について

(1) 教材観

本单元は、小学校学習指導要領(平成20年告示)社会第6学年の内容(1)のケを受けている。日清・日露戦争を経て、国際社会での地位を向上させた日本が、世界恐慌を機に陥った不況から抜け出すために、植民地政策を進め、中国との戦争に突入していく。戦線は中国から東南アジアへと拡大し、さらにはアメリカとの太平洋戦争へと進んでいく。太平洋戦争以降、日本の戦況は悪化し、広島・長崎への原爆投下、ソ連のシベリア侵攻に至り、1945年8月15日、連合国への無条件降伏を宣言し、戦争が終結するところまでを学習する。

その間の国民生活は、戦争に協力・奉仕する戦時体制へ移行していく。前線で戦う兵隊として、大学生や一般の男性にも召集がかかったり、女学生も、戦争のための勤労奉仕に協力したりした。街中に戦意を鼓舞する広告や看板が立ち並び、子供たちが遊ぶ玩具や読み物に至るまで戦争関連の内容であった。戦況が悪化すると、戦時体制はさらに厳しさを増す。食糧や衣服が配給制になり、最終的には供給量も制限されていく。また、兵器製造のために金属供出を求められることもあった。全ての国民が戦争に勝利するために、協力を余儀なくされた生活であった。

本单元を通して、児童は表面的に理解していた戦争や、戦争はよくないという価値観から、戦争に至る原因や背景、実態を学習し、戦争の悲惨さを捉え直すことができる。それとともに、平和の意義や平和を求める理由、自分たちの戦争のない生活が尊いものであることを考えさせることができる。このことは次の单元「新しい日本、平和な日本へ」の学習内容である日本国憲法の制定過程や憲法の柱の一つである平和主義の理解につながっていく。

(2) 児童観

WEB上では掲載しません

WEB上では掲載しません

(3) 指導観

本単元では、戦争の悲惨さを伝えるだけでなく、戦争へと進んでいってしまった日本について、自分たちはこの選択をどのように考えるのかを考えることができる。そこで、学習のまとめでは、このような戦争を日本も世界も繰り返してほしくないという思いがあることに気付かせるとともに、この戦禍を学び、自分としてはどのような国づくりが必要なのか、児童に考える時間を設ける。考えたことを踏まえて、次の小単元「新しい日本、平和な日本へ」につなげていきたい。

使用する資料については、太平洋戦争という事象が、現在からあまり年月がたっていないため、写真・絵図資料がたくさん残っている。戦争を扱う単元のため、中には残酷な写真や手記もあるので、それを見る児童の発達段階を考慮して、資料を精選して使っていく。それとともに、戦争を経験した人の実際の声にも触れさせることで、当時の人々の思いを感じ取らせ、戦争が悲惨なものであることを、実感をもって理解させるとともに平和を望む思いを子供たち一人一人に育んでいきたい。

なお、本時の学習は、新しい単元の一時間目であり、学習問題をつくる場面である。児童の言葉を教師が橋渡しして、子供たちの言葉で学習問題を立てていく。今回の学習問題づくりのポイントは二点ある。一点目は、原爆投下によって街が破壊されたことから、戦争が始まるに至った経緯に関心をもたせることである。まず、原爆投下前後の物産陳列館（原爆ドーム）の写真を提示することで、「なぜ原爆が投下されたのか」という点に疑問が出てくるようにしたい。この疑問をきっかけに既習事項と原爆投下までの間に何があったのか関心が向くようにさせていく。重要なのが既習内容（国際社会で重要な地位にいること、二つの戦争に勝っているということ）なので、しっかり印象付けさせていく。二点目は、戦時体制中の人々のくらしである。自分たちの住む埼玉県で空襲があった記録、金属供出の写真資料、食べ物の移り変わりを示し、人々の生活に何があったのか、どんな生活を送っていたのかに関心をもたせたい。

3 小単元の目標と評価規準

日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産から学習問題を見だし、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して意欲的に調べたことを通して、我が国が戦時体制に移行して、敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたこと、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことを理解する。また、それらにかかわる代表的な文化遺産や歴史的事象の意味について、様々な資料をもとに思考・判断したことを適切に表現する。

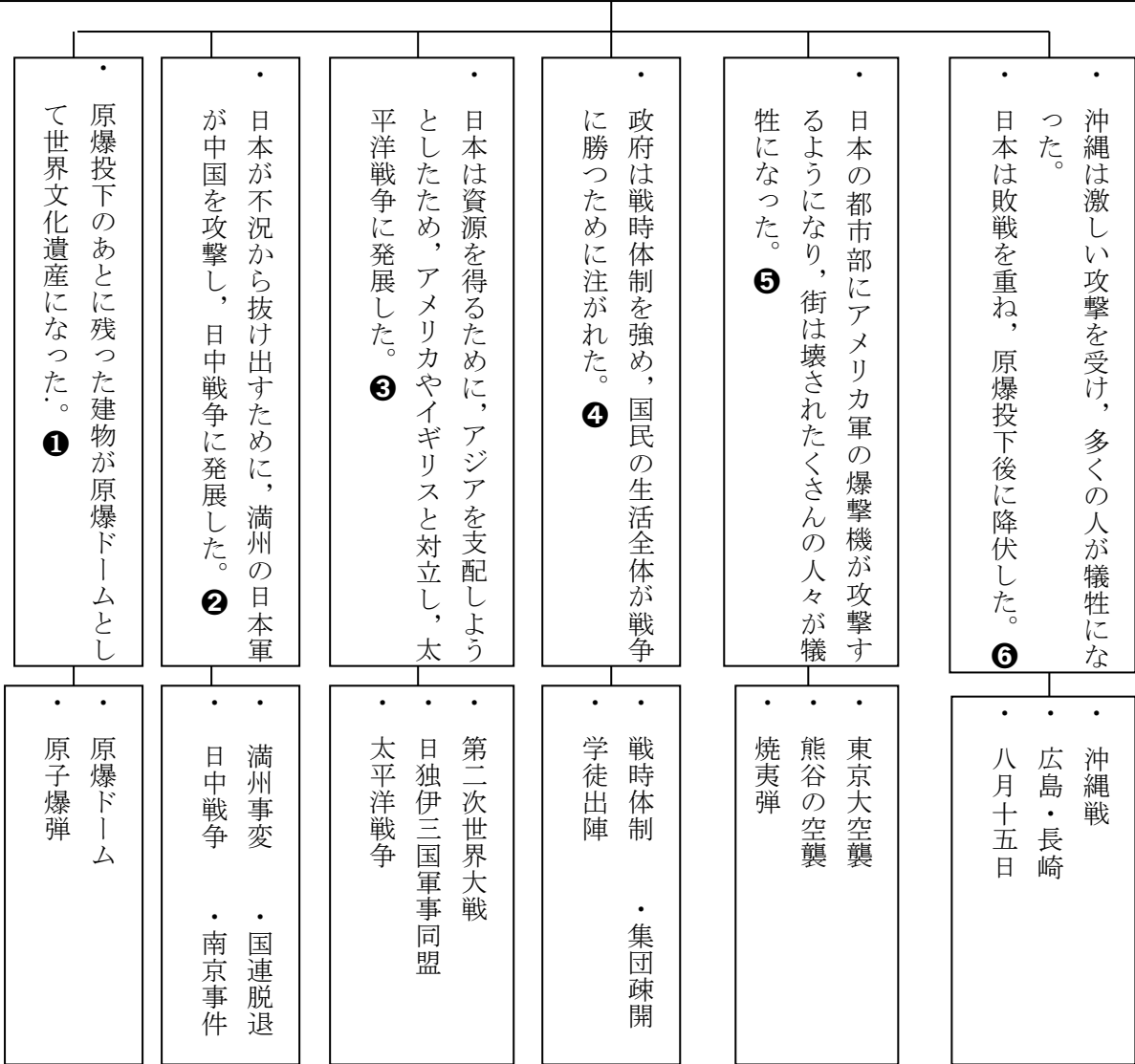
社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、その頃の国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産に関心を持ち、それ	日華事変、第二次世界大戦にかかわる代表的な文化遺産から学習問題を見だし、予想、学習計画を考え、調べることを通して、我が国が戦時体制に移行したこと、連合国と戦って敗れ、国民が大きな被害を受	中国との戦いが激しくなってきたこと、我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたこと、国民が大きな被害を受けるとともに、諸国に大きな損害を与えたことな	我が国が戦時体制に移行したことや広島長崎への原爆投下、さらに沖縄戦などによって、国民が大きな被害を受けたこと

<p>らを進んで調べることを通して、その歴史的事象を公正に考えようとしている。</p>	<p>けたこと、諸国に大きな損害を与えたことなどの社会的事象がもつ意味について思考・判断したことを、根拠や解釈を示しながら新聞などに文章や図などで適切に表現している。</p>	<p>どについて代表的な文化財、地図や年表、戦争を体験した人の話、その他の資料などを活用して調べ、比較・関連付け・総合して文章や図に再構成してまとめている。</p>	<p>が分かっている。</p>
---	---	--	-----------------

4 知識の構造図【長く続いた戦争と人々の暮らし（7時間）】

<p>[学習指導要領との関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第6学年の目標（1） ○ 内容（1）略 <p>ケ <u>日華事変</u>，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。</p>
--

<p>【中心概念】</p> <p>日中戦争，太平洋戦争を通じて，我が国が戦時体制へ移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受け，戦場になった地域にも大きな損害を与えた。⑦</p>



5 指導計画と評価計画（7時間）

○内の数字は時間を表す。

関：関心・意欲・態度

思：思考・判断・表現

< >内は評価の方法を表す。

技：観察・資料活用の技能

知：知識・理解

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法
つかむ	<p>① 原爆投下前後の原爆ドームの写真を見て，変化の原因に関心をもち，学習問題を立て，その間の出来事を年表で調べ，学習計画を立て，学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年表で原爆投下までの出来事を調べること 学習問題を立てること <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習問題：15年にわたる長い戦争はどうして起こり，人々の生活はどのように変わったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年表から学習問題の答えを予想し，学習計画を立てること 	<p>関 原爆ドームの写真から，終戦直後の様子に関心をもち，問題意識をもって進んで考えようとしている。<態度></p> <p>思 年表から調べた出来事をもとに学習問題の答えを予想し，ノートに書いている。<ノート・発言></p>
調べる	<p>② 日華事変までの経緯と戦争の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日華事変 国連脱退 日中戦争 戦場が中国全土に広がっていること 	<p>技 日華事変の原因や広がりについて資料をもとに調べ，ノートにまとめている。<ノート></p> <p>知 我が国が世界恐慌の打開や満州での権益を守るため，戦場を中国の人々に大きな損害を与えたことを理解している。<発言・ノート></p>
	<p>③ 世界へと広がった第二次世界大戦，太平洋戦争までの経緯と戦争中の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦 太平洋戦争 戦場が太平洋，東南アジアに広がっていること 敗戦が重なり，徐々に日本の戦局が悪化していったこと 	<p>技 第二次世界大戦や太平洋戦争の原因や広がりについて資料をもとに調べ，ノートにまとめている。<ノート></p> <p>知 我が国が資源を求めてアジアを支配しようとして米英などと対立し，戦争が広がっていったことを理解している。<発言・ノート></p>
	<p>④⑤戦時中の人々はどのような生活をしていたのか，空襲によってどのような被害を受けたのか調べ，文章でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京大空襲 戦時体制（勤労働員，赤紙，集団疎開） 人々の生活（配給，供出，子供の遊び） 	<p>思 戦時中の国民生活が，戦争のために注がれ，大きな被害を受けたことについて，調べたことをもとに考え，文章などに表現している。<ノート></p> <p>知 戦時中の人々の生活が戦争中心の生活だということを理解している。<発言・ノート></p>
	<p>⑥ 戦局が悪化した後，どのようにして戦争が終わったのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄戦 原子爆弾の投下（広島，長崎） 8月15日に無条件降伏を受け入れたこと 	<p>技 資料を通して，沖縄戦や原爆投下について調べ，ノートにまとめている。<発言・ノート></p> <p>知 沖縄戦，広島・長崎への原爆投下により，多くの人々が犠牲になって敗戦を迎えたことを理解している。<発言・ノート></p>
まとめ	<p>⑦ 学習問題に対する結論をまとめるとともに，敗戦までの過程をもとに，「誰がどんな国づくりを目指しているのか」を考え，意見を交流し，戦争や平和に対する</p>	<p>関 学習問題の結論やこの出来事に対する自分の考えを自分の言葉で意欲的に表現しようとしたり，交流して理解を深</p>

る	<p>理解を深める。</p> <p>学習問題の答え：長い戦争は、植民地を広げようとして起こり、アメリカの原爆投下の被害をきっかけに降伏した。人々は戦争が終わるまで戦争に協力する生活を送った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習したことを文章でまとめること ・ 文章でまとめたことを交流すること 	<p>めようとしたりしている。〈ノート・発言・態度〉</p> <p>思 学習内容を比較・関連付け・総合して再構成し、根拠や解釈を明確にして自分の言葉で表現している。</p> <p>〈ノート・発言〉</p>
---	--	---

6 本時の学習指導（1／7時）

（1）本時の目標

- ・原爆投下前後の原爆ドームの写真を見て、変化の原因に関心を持ち、学習問題をつくとともに、資料を活用して学習計画を立て、学習の見通しをもつ。

（2）展開（「指導と評価の工夫」の【評】は評価の場面・評価方法、○は指導上の留意点を表す。）

学習活動	学習内容	評価と指導の工夫	資料	時間
1 前時までの復習を通して、既習事項を確認する。	○ 1920年代までの日本 ・産業が発展，好景気 ・日清・日露戦争，第一次大戦の戦勝国，国際的な地位の向上 ・欧米列強の仲間入り ・人々の生活も便利で豊かに	○本時の学習問題づくりに必要な内容を，児童の発言をもとに整理する。		5
2 本時のめあてを知り，原爆ドームについて調べる。	○世界遺産	○資料を調べ，原爆ドームが世界文化遺産として，保護・保存されていることを確かめる。	・写真資料（現在の原爆ドーム）	2
学習問題をつくり、学習計画を立てよう。				
3 原爆ドームに関する二枚の写真を比較して，気づいたことや考えたことを話し合う。	○原爆ドーム ・原爆投下前の写真（産業奨励館） ・原爆投下後の写真（原爆ドーム） ・広島市の街の様子	○原爆の被害の大きさや変化に気づかせ，投下される原因に興味を向くようにする。 【評】 原爆ドームの写真から，終戦直後の様子に関心を持ち，問題意識をもって進んで考えようとしている。【関】 〈発言，発表〉	・写真資料（投下前、投下後、）	8
4 1920年代から原爆投下後までの出来事を年表で調	○満州事変 ○日中戦争	○原爆投下までの間にどのようなことがあったのか，年表で	・年表	5

<p>べる。</p> <p>5 写真資料をもとに、国民の生活の変化について、既習事項と比較して考え、話し合う。</p> <p>6 学習問題を立てる。</p>	<p>○太平洋戦争 ○原爆投下</p> <p>○配給 ○供出 ○疎開</p>	<p>調べさせる。</p> <p>○既習の内容と写真資料を比較し、変化があったことをつかませ、国民の生活の変化に関心をもたせる。</p> <p>○児童から出た疑問や発言をもとに問題をつくる。</p>	<p>・写真資料 (食事の移り変わり、空襲の様子、供出の様子)</p> <p>・電子黒板</p>	<p>10</p>
<p>学習問題:15年にわたる長い戦争はどのように起こり、人々の生活はどのように変わったのだろうか。</p>		<p>○年表に学習する順に番号を付け、学習の見通しをもたせる。</p> <p>○自分の予想をノートにまとめる。</p>	<p>5</p>	<p>10</p>
<p>7 学習計画を立て、その結論を予想し、予想を聞き合い、次時につなげる。</p>		<p>【評】 年表から調べた出来事をもとに学習問題の答えを予想し、ノートに書いている。【思】 <ノート・発言></p>		

7 板書計画

これまでの日本の様子とこの後の日本

- ・戦勝国（日清・日露・世界大戦）
- ・国際社会での地位向上（欧米の仲間入り、国際連盟、科学者の活躍）

食べ物の移り変わりの写真資料

原爆投下前の写真

→

現在の原爆ドームの写真

国際的地位が高かったのになぜ？
なぜ戦争になったのか？
なぜ原爆が落とされた？
どこの国に落とされた？

原爆ドーム（世界遺産）
原爆投下 1945年 8月 6日

原爆投下までの出来事

年	出来事	人々の生活

人々の生活

- ・物をもらってる。
- ・豊かそうでない。
- ・鉄を寄付してる。

↓

人々の生活に変化

学習問題

15年にわたる長い戦争はどのように起こり、人々の生活はどのように変わったのだろうか。

※金属供出の写真資料と埼玉県空襲の資料は電子黒板に掲示する。